

第31回標茶町アイスストッカー大会開催要項

1. 趣 旨 スポーツの原点である楽しさを追求し、みんなが「だれでも」「どこでも」「いつまでも」気軽に参加することができ、スポーツを通じて冬の寒さを克服し、ニュースポーツの普及と振興を図り交流と親睦を深めることを目的とする。
2. 主 催 標茶町教育委員会
3. 主 管 標茶町スポーツ推進委員の会
4. 協 力 茶安別スポーツ協会
5. 協 賛 雪印メグミルク株式会社磯分内工場
明治安田生命保険相互会社釧路支社釧路駅前営業所
6. 日 時 令和8年 1月25日（日）※悪天中止
(当日午前7時30分までに判断し、各チーム代表者へ連絡します)
- | | |
|-----------|---------------|
| 代表者会議 | 午前 8時50分 ~ |
| 開会式 | 午前 9時00分 ~ |
| 説明会及び練習時間 | 午前 9時20分 ~ |
| 競技開始 | 午前 9時35分 ~ |
| 閉会式 | 午後12時30分 (予定) |
7. 会 場 標茶町野外アリーナ (標茶町常盤9丁目14番地)
8. 参 加 対 象 中学生以上
9. 競 技 部 門 一般の部 (中学生以上)
10. チーム登録 選手4~6名 (ゲームは4名で出場・選手交代はセット毎に自由)
11. チーム数 最大24チーム
12. 競 技 方 法 別紙のとおり
13. 表 彰 1位~3位まで表彰します
14. 参 加 料 無料
15. 申 込 方 法 ポスターやホームページに掲載されてるQRコードにてお申込みください。

申込みQRコード



16. 申 込 先 標茶町川上10丁目47番地標茶町農業者トレーニングセンター内
標茶町教育委員会社会教育課スポーツ係
電 話 : 015-485-2434 F A X : 015-485-0005
メール : k_hoken@town.shibecha.lg.jp
17. 申 込 期 日 令和8年 1月13日 (火)
18. 組 み 合 わ せ 事務局で抽選を行い、当日発表します
19. 競 技 規 則 アイスストッカー標茶大会競技規則による。競技状況等により、規則の一部を変更する場合があります。
20. そ の 他
- ・練習または用具の貸し出しを希望される方は、農業者トレーニングセンターへお問い合わせください。
 - ・怪我に備えて傷害保険に加入していますので、万が一怪我が発生しましたら、速やかに事務局へ報告願います。また、当日はAEDを用意します。

～ 競 技 方 法 ～

- 1) 選手は4名とし、補欠は2名まで登録可能とする。選手交代はセット毎に自由に行うことができる。ゲームは各チーム4個のストーンを使用する。
- 2) コートは20m×3mのテープを氷上に区画し、送球マットは中央に置く。
- 3) 標的はコート内10m～20m以内に送球位置から投げる。標的は2回まで投げるができるが、2回とも失敗したときは先攻権が移動する。
- 4) 決勝トーナメントのみ投石者は審判が次のストーンを投げるチームを宣言してから30秒以内に投げなければならない。
- 5) 投擲前に足をはみ出して投げられたストーンは無効とし即日撤去とする。
※対象は両足とし片足でも無効。

- 6) 投石時にマットが剥がれた場合のみ、投石結果を見て競技場の整備終了後にチームの代表者はやり直しを要求することができる。ただし、標的がコート外に出た場合はやり直しはできない。

※ やり直しは各選手1回まで、セット毎でリセット。
使用するストーンはコート内に影響を与えた場合は、自チームで最も標的に近いストーンを使用する。影響がなかった場合は、同じストーンを使用する。

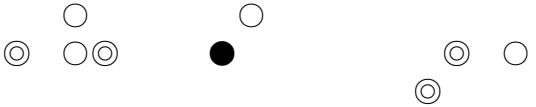
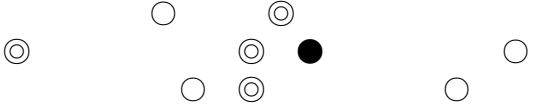
- 7) コート内には審判以外入ることはできない。また、指示はコート外から行うこと。
- 8) 標的及びストーンは腰より高い位置から送球してはならない。即ちアンダースローで滑らし、送球後倒れたストーンはセット終了までそのままの状態で置く。
- 9) ストーンの形や重さ等による不公平を防ぐため、セットごとに色分けしたストーンを交換する。
1セット目に赤を使用したチームは2セット目は青を使用する。
- 10) 標的にストーンを最も近づけたチームは相手方が更に近づけるかストーンを使い終わるまで送球する。
- 11) 双方のストーンが標的に対して同等距離になった場合は、後に近づけたチームが続けて送球することとする。また、セット終了後同等距離の場合は、それぞれのチームに各1点を与える。
- 12) ゲーム中、標的をコート外にはじき飛ばした場合、そのセットは終了とし相手チームに2点又は相手チームの残っているストーンの数いづれが多い方が得点として与えられる。
- 13) 得点の計算は、両チームのストーンをすべて送球し終わった後、標的に最も近いストーンのチームが相手チームの標的に一番近いものよりすべて得点となる。(1個につき1点とする)
- 14) セットに勝ったチームは引き続き先攻権を得、ゲームを続ける。
- 15) 予選リーグは、1試合あたりの制限時間は15分とし、7点先取または制限時間終了時点での得点数により勝敗を決める。(終了時同点の場合、ヴィクトリースローを行う。)

※ヴィクトリースロー

- ・ヴィクトリースローの際はバック、ストーンを場外に出す。
- ・投石者同士でじゃんけんを行い、先行後攻を決める。
- ・ヴィクトリースローは各選手1回まで。
- ・先行が投げたストーンはセンターラインからの距離を測った後、場外に出す。
- ・ヴィクトリースローで投げるストーンは最終セットで投げた色のストーンを使用。
- ・計測する距離は、投石されたストーンとセンターラインとの最短直線距離とする。

- 16) 決勝トーナメント、3位決定戦、決勝戦は時間無制限の9点先取により勝敗を決める。

(例)

セット数	ストーン的位置	得点の計算方法
第1セット		○チームは◎チームよりも標的●に 1個近いため ○チームが1点
第2セット		◎チームは○チームよりも標的●に 3個近いため ◎チームが3点

上記の例では…

第2セット終了までの得点は1対3で◎チームが勝っていることになります。このまま、セッ
トを繰り返し、先に7点を取ったチームが勝ちとなりますが、時間制限の場合は、そのセット
も含めた得点にて勝敗を決定します。